

# いのち いちばん



## 図書室に本を寄贈していただきました

この度、「公益財団法人 きんき教育文化財団」より、大型絵本・図鑑・物語などの図書を40冊寄贈していただきました。

今福小学校の児童が、「本にこれまで以上に親しんでほしい」「読み聞かせ」を通して豊かな心をはぐくんでほしい「調べ学習を進んで行ってほしい」という願いをこめて贈られました。

きんき教育文化財団は、豊かな人間教育に通じる「良書」との出会い、読書の推進に力を注ぎ、豊かな読書活動が起点となって児童の人間教育に役立ち、ひいては、学校教育・地域社会への貢献を願い、20年以上にわたり、大阪府下の小学校に図書の寄贈を続けておられます。

大型絵本について、高価なもので計画的に年々そろえたいと思っていたところ、この助成を得て、ほとんどの大型絵本をそろえることができました。毎週木曜日に、学校へ図書ボランティアでお越しにいただいている地域の皆様からも、大型絵本の寄贈はたいそう喜んでいただきました。大型絵本が増えたことで、読み聞かせの内容も広がり、本当に感謝しています。

また、図書室には、電子黒板が設置されています。図鑑にDVDがついているので、多くの児童と一緒に電子黒板をつかって調べた内容を共有することができ、教育の効果が期待できます。

本校児童アンケートにおいて「本を、進んで読んでいますか。」の質問に肯定的に回答した低学年の児童が昨年度は約82%でしたが、平成28年度は100%になりました。読書好きの児童が増えつつあると自負しています。



大阪市教育局の支援を得て、昨年の10月から学校図書館補助員の方に毎週水曜日お見えいただいています。

「読書は心の栄養」と言われます。今福小学校の児童が、ますます読書が好きになるように願っています。



## ◇◆◇学校安心ルールを配付しました◇◆◇

大阪市教育局では「児童生徒のみなさんが『してはいけないこと』と「学校等が行う対応」の一覧表を「学校安心ルール」(案)(以下、「ルール」と記載)として作成し、10月24日に学校からご家庭に配付しました。

この「ルール」は、これまで教育委員会が確認してきた、社会で生きる上で身につけておかねばならない普遍的な事柄について繰り返し指導することを目的として作成されたものです。この「ルール」は、児童を罰すること、措置を行うことが目的ではなくて、きまりをあらかじめ明示することにより、児童がしてはいけないことを自覚したうえで、自らを律することができる力の育成をめざしています。たとえば、「授業中、一生懸命勉強する。」「忘れ物をしない。」というのも、きまりの一つです。保護者の皆様



のご理解とご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

## ♪こんなうれしいことがありました♪

私が階段を降りているとき、高学年の女の子が数人で私の前を歩いていました。すると、私に気付いた人が「校長先生、後ろから来てはるで、先に通したげなあかんやん。」私は、うれしくて、感動して、思わず「素晴らしい。はなまる。」と、さけんでいました。こんなに素晴らしい子どもに、今福小学校の子どもは成長しているのだと、涙が出そうでした。本当に、ありがとう。素晴らしいです。

日頃の子どもの様子を学校ホームページで紹介しています。

ぜひ、ご覧ください。

<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e691543>